

大学院特別講演のお知らせ

遺伝性皮膚疾患

－ 基礎研究から夢の治療まで －

弘前大学大学院医学研究科 皮膚科学講座

教授 澤村 大輔 先生

平成26年2月14日（金）18時より

研究棟3階大学院セミナー室

弘前大学医学部附属病院皮膚科遺伝外来では、栄養障害型表皮水疱症の原因遺伝子であるVII型コラーゲン遺伝子（COL7A1）の変異の検索を中心に遺伝子診療を行っております。その他、下記にあげた遺伝性疾患（栄養障害型表皮水疱症、腸性肢端皮膚炎、ポルフィリン症、遺伝性掌蹠角化症、先天性魚鱗癬、ダリエ病、ヘイリー・ヘイリー病、弾性線維性仮性黄色腫、その他）の遺伝子診断を行っております。遠方の患者様に対してはこれまで血液又はDNA郵送の上、変異の検索を行っております。最寄りの皮膚科で診察していただいた上、当施設をご利用ください。

とホームページにあるように、弘前大学皮膚科では遺伝子診断に基づいた遺伝子診療がシステマティックに稼働しています。当科からも、先天性爪甲肥厚症をはじめ、膿疱性乾癬疑い、ポルフィリン症疑い、先天性表皮水疱症疑いなどの患者さんの遺伝子解析で大変お世話になっています。

そこで今回は、教授である澤村大輔先生に、遺伝性皮膚疾患の概説とともに、基礎研究による病態解明、さらに夢の治療の開発（遺伝子治療？iPS細胞？）まで、ご自身のご経験を元に、熱く語って頂きます。

担当：金澤伸雄